

## 土浦支店臨時雇用員雇止め事件訴訟「和解成立」についての本部見解

～7名の先輩たちと共に、組合員と家族に寄り添う本物の労働組合を目指して～

2022年9月20日、東京地裁で行われた第8回期日において「ジェイアールバス関東土浦支店臨時雇用員雇止め事件（地位確認等請求事件）」が和解により終了しました。この事件の原告7名は、国鉄からジェイアールバス関東に40年以上にわたりバス乗務員としてハンドルを握り、安全輸送の礎を築き上げたジェイアールバス関東労働組合に所属する組合員です。私たちジェイアールバス関東労組は、先輩たちに突如言い渡された「（2020年9月30日までの）契約期間満了に伴う雇用契約終了＝雇止め」の無効を求め、団体交渉、労働審判、そして東京地裁へ訴訟手続きを行い、計8回の期日を積み重ね、先輩たちと本音の議論を繰り返したなかで、今回「和解成立」の決断をしました。「この雇止めは、40年以上会社の為に働いてきた私たちに、一生拭いきれない心の傷を負わされました。」「後輩たちの為に立ち上がりました。残念ながら職場からは離れますが、自分たちが正しいと、仲間を信じて進んだ道だから心は晴れ晴れです。」、これは労働審判3回の期日と労働審判失効により訴訟手続きへ移行し、東京地裁で8回の期日を積み重ねてきた先輩達の言葉です。

ジェイアールバス関東労組は、コロナ禍が蔓延するなか「いかに生活を安定させ維持していくのか」という最も重要な時期に組合員7名が雇止めをされることは特定の労働組合を狙う「雇止め・強制解雇」であると断定して、当該の土浦分会と連携して先輩たちの声を聞く「激励・意見交換会」を開催し、分会は常に先輩たちに寄り添いながら一緒に課題を乗り越えていく運動に力点を置きました。「70歳まで慣れ親しんだ職場で仕事がしたい」「年金だけでは生活が出来ない」という先輩たちの不安を、分会の仲間たちが自分の問題として捉え、心を一つにして常に寄り添い続けました。今やその一体感は揺るぎない強靱なものとなり、組織の基盤となっています。一方で本部は分会と連携し、ジェイアールバス関東会社に対して雇用継続を求める緊急申し入れを行い、粘り強く「雇用契約継続」を求めてきましたが、残念ながら結果は変わらず「コロナ禍により土浦支店の業務量が減少に転じ、業務量が回復しないため雇用契約を満了とする」という認識に終始し、その姿勢を変えることはありませんでした。私たちは「先輩たちの雇用をまもる」「改正される『高年齢者雇用安定法』の継続雇用の努力義務をまもる」「65歳を迎える高年齢者の働き方を明確にする」この3点に重点を置き、第三者機関活用をたたくかにステージを押し上げて運動を展開した結果、雇止め無効による職場復帰は実現できませんでしたが、7名の声を司法の場で最大限訴え、一定の前進が図れたと判断して「勝利的な和解成立」に至りました。

そして私たちは、訴訟を通じて多くの組合員と連帯する労働組合の仲間たちが傍聴に駆けつけ、賛同する仲間をつくりだしてきました。ジェイアールバス関東不当労働行為事件と連帯しつつ、記者会見や報告集会などで社会に「一バス会社の問題ではなく高年齢者雇用の社会問題である」ことを訴え賛同の輪を拡大してきました。

～ジェイアールバス関東労組に加入してよかった！

もう一度、活気あふれるバス会社にする為に組合員と家族に寄り添う本物の労働組合を目指そう！～

『新型コロナウイルス感染拡大で運転手が足りない』2022年3月、首都圏の大手私鉄バス会社で「減便」が相次ぎました。市民の大切な足となる路線バスが「運行に必要な乗務員数を確保することが困難」として減便を余儀なくされました。ジェイアールバス関東も他人事ではなくコロナ禍による収入減や、将来への不安から100名以上の乗務員が会社を去り多くの職場が慢性的な要員不足に陥っています。当然にも7名の先輩たちが去った土浦支店も同様に厳しい労働環境下での運転労働を余儀なくされ、今年4月から再開した乗務員の新規採用は若干名と、乗務員の成り手がいない状況にも直面しています。このような状況下で後輩たちに少しでも働きやすい労働環境を残す為に立ち上がった7名の先輩たちは、「仲間の為にたたかうジェイアールバス関東労組に加入してよかった」「これからもOBとして支えて行く！」と私たちの背中を押し続けてくれています。

私たちが先輩たちのたたかいから導き出した教訓は「仲間と共に寄り添い、真念を貫く」という揺るぎない姿勢であり、仲間と家族を思う優しさです。バス関東労組は、その教訓を活かして、これから迎えるジェイアールバス関東不当労働行為事件の完全勝利と、健全なJR東日本グループを再確立する為に、全組合員と家族でこれまで職場で行われた不条理に立ち向かいます。

最後に「土浦支店臨時雇用員雇止め事件」を支えてくれた多くの仲間の皆さんに感謝を申し上げ見解とします。

2022年9月26日  
ジェイアールバス関東労働組合